2026
健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上 場 会 社 名　株式会社 日本トリム　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　6788　URL https://www.nihon-trim.co.jp/
代　　表　　者　（役職名） 代表取締役社長　（氏名） 田原　周夫
問合せ先責任者　（役職名） 執行役員　経理部長　（氏名） 松山　幸司　（TEL）06-6456-4600
半期報告書提出予定日　2026年11月13日　配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　（機関投資家様向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	13,891	12.0	1,950	24.8	2,125	26.8	1,291	16.7
2026年３月期中間期	12,406	9.2	1,563	△15.8	1,676	△14.0	1,106	△15.2

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,431百万円（　40.8%）　2026年３月期中間期　1,016百万円（△30.9%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	173.63	―
2026年３月期中間期	145.46	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	37,598	25,900	63.9	3,224.44
2026年３月期	36,067	25,481	65.8	3,193.56

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　24,008百万円　2026年３月期　23,741百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	130.00	130.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期（予想）			―	130.00	130.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	11.8	3,300	12.2	3,500	11.2	2,200	8.3	292.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	8,656,780株	2026年３月期	8,656,780株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,211,084株	2026年３月期	1,222,590株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	7,438,885株	2026年３月期中間期	7,610,378株

（注）　当社は、「株式給付信託（J-ESOP）」及び「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship®）」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当社グループは、“快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する”という企業理念のもと、健康・医療をメインテーマに事業を展開しております。電解水素水、電解水透析、再生医療関連等の事業を通じて、ひとびとのWell-beingに貢献することが我々の使命です。

当社の電解水素水整水器は、**「胃腸症状の改善」**に効果が認められた管理医療機器です。機器に搭載した浄水カートリッジは、JIS規格で定められた17物質に加え、PFAS（ピーファス：有機フッ素化合物の総称）を含む浄水器協会自主規格（JWPAS）で定められた５物質を合わせた計22物質を除去する性能を備えており、健康とともに安心して暮らせる環境づくりにも貢献しております。また、電解水素水の応用は、医療分野においては血液透析患者のQOL向上への寄与、農業分野においては作物の収量増加や高付加価値化など、幅広い領域での活用が期待されており、その可能性はますます広がっております。

「社会は何時の時代も我々の製品を必要としている。」をスローガンに、サステナブルな社会の実現に貢献し、当社グループの持続的な企業価値向上、株主価値向上を果たしてまいります。

当中間連結会計期間における当社グループの売上高は13,891百万円（前年同期比12.0%増）となりました。整水器販売及びカートリッジ販売が堅調に推移したことに加え、インドネシアのボトルドウォーター事業が引き続き高い成長を維持しております。

営業利益は1,950百万円（同24.8%増）、経常利益は2,125百万円（同26.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,291百万円（同16.7%増）となりました。売上高の増加により各段階利益はいずれも前年同期を上回り、売上高及び各段階利益ともに、中間期の業績予想を上回る結果となりました。一方、原材料価格の上昇や人的投資の拡充など、コスト増加要因も引き続き見込まれることから、更なる販売拡大やコスト管理の徹底を図り、収益性の維持・向上に努めてまいります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

［ウォーターヘルスケア事業］

国内における整水器販売事業の売上高は5,308百万円（前年同期比5.4%増）となりました。

直接販売部門では、主軸である職域販売部門（DS事業部）において、売上高が前年同期比10.0%増となりました。スポーツ分野、美容分野、金融機関等へのアプローチを継続する中、セミナー開催数は前年同期を上回り、販路開拓が順調に進んでおります。また、企業への一括導入の推進にも注力しております。今後は事業部間の連携を一層強化し、営業ノウハウや販売機会の共有を通じて営業活動の効率化・販売機会の最大化を図るとともに、新たな営業ツールの導入や営業人員の拡充を進め、更なる販売拡大に取り組んでまいります。

間接販売部門の卸・OEM部門（MS事業部）では、国内一般卸代理店向けの販売や海外向け取引が伸長した一方、一部の大口OEM代理店向けの販売減少により、売上高は前年同期を下回りました。当該OEM代理店については、既に下半期の受注に一定の見通しが立っており、通期での販売実績が前年を上回るよう、販売支援の強化に取り組んでおります。引き続き新規代理店の獲得、海外向け取引の拡大に注力してまいります。

ストックビジネスである国内カートリッジ販売の売上高は3,232百万円（同5.3%増）と、堅調に推移いたしました。引き続き、定期的な情報配信やフォロー架電などの顧客サービスを強化し、安定した収益基盤の維持・拡大に努めてまいります。

インドネシアでボトルドウォーター事業を展開するPT. SUPER WAHANA TEHNOの売上高は3,194百万円（前年同期比52.1%増）となりました。これまで積極的に展開してきたTVCMやSNS広告、各種プロモーション施策の効果が着実に表れており、引き続き高い成長率を維持しております。下半期においては、広告宣伝活動や販売促進施策への積極的な投資をさらに強化し、ブランド認知度の更なる向上とマーケットシェアの拡大を図ってまいります。インドネシアにおいては、安定的な経済成長に伴う所得水準の向上を背景に健康志向が高まっており、アルカリ飲料水市場のリーディングカンパニーとして、更なる飛躍を目指してまいります。

以上の結果、ウォーターヘルスケア事業の売上高は12,432百万円（前年同期比14.4％増）、セグメント利益は1,825百万円（同25.4％増）となりました。

［医療関連事業］

電解水透析(*1)事業では、現在37施設へ導入しており、1,127床、約3,400名の方が電解水透析治療を受けられております。当中間期に新規導入はありませんでしたが、10月には既存導入施設において最新機種への更新が行われました。これは、電解水透析に対する評価と信頼が背景にあり、今後の更なる普及に向けた重要な実績と捉えております。また、本年６月に開催された「第71回日本透析医学会学術集会・総会」において、電解水透析関連で８演題が発表されるなど、積極的な情報発信を継続しております。引き続きエビデンスの強化と普及活動に取り組むとともに、関係当局への相談など医療機器化に向けた具体的な取り組みも進めております。

(*1)電解水透析とは、透析治療で使用される透析液の希釈水を、当社技術による電解RO水とすることで、透析液に水素を溶存させる次世代新規治療法です。溶媒である水の機能に着目した世界初の技術であり、通常透析と比較して投薬量の減少や、合併症併発率、粗死亡率の低減が示唆されるデータを取得しており、注目を集めております。

再生医療関連事業では、ステムセル研究所（東証グロース、証券コード：7096、当社持分71.2％）がリアルマーケティングの強化による国内事業の拡大に注力するとともに、東南アジア全域への展開を見据えたシンガポールでの事業開始に向けた準備を着実に進めております。同社は2027年３月期第２四半期（中間期）決算発表を当社と同じく11月12日に実施しておりますので、詳細は同社決算短信をご参照ください。

以上の結果、医療関連事業の売上高は1,458百万円（前年同期比5.2％減）、セグメント利益は124百万円（同16.1％増）となりました。売上高は電解水透析事業を中心に前年同期を下回りましたが、各事業における費用の抑制等により、セグメント利益は前年同期を上回りました。

（２）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の資産は37,598百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,530百万円増加（前期比4.2％増）いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金が693百万円、投資有価証券が280百万円、現金及び預金が244百万円増加したことによるものであります。

負債は11,697百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,112百万円増加（同10.5％増）いたしました。主な要因は、買掛金が246百万円、未払法人税等が243百万円、前受金が155百万円増加したことによるものであります。

純資産は25,900百万円となり、前連結会計年度末に比べ418百万円増加（同1.6％増）いたしました。主な要因は、配当金1,044百万円の支払いがあった一方、親会社株主に帰属する中間純利益1,291百万円の計上があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の業績予想につきましては、2026年５月13日「2026年３月期決算短信」にて公表しております通期業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,209,247	14,453,689
受取手形及び売掛金	7,119,741	7,813,002
製品	601,950	649,198
原材料及び貯蔵品	1,135,760	1,159,663
その他	317,492	338,047
貸倒引当金	△28,859	△30,214
流動資産合計	23,355,332	24,383,388
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,998,407	2,999,640
その他（純額）	2,033,050	2,095,924
有形固定資産合計	5,031,457	5,095,565
無形固定資産		
のれん	274,671	256,112
その他	327,311	270,023
無形固定資産合計	601,983	526,135
投資その他の資産		
投資有価証券	2,859,707	3,139,863
長期預金	1,500,000	1,500,000
その他	2,733,085	2,967,569
貸倒引当金	△14,173	△14,173
投資その他の資産合計	7,078,619	7,593,259
固定資産合計	12,712,060	13,214,960
資産合計	36,067,392	37,598,349
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,947	866,473
未払法人税等	487,886	731,553
前受金	4,443,644	4,599,201
賞与引当金	202,987	209,891
製品保証引当金	92,000	87,000
株式報酬引当金	―	82,186
その他	1,880,630	2,223,419
流動負債合計	7,727,095	8,799,726
固定負債		
長期借入金	1,011,161	919,727
株式報酬引当金	276,357	240,447
役員退職慰労引当金	293,901	311,881
退職給付に係る負債	422,802	438,759
その他	854,441	987,397
固定負債合計	2,858,663	2,898,213
負債合計	10,585,759	11,697,939

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	992,597	992,597
資本剰余金	1,807,969	1,809,022
利益剰余金	25,345,197	25,591,926
自己株式	△4,484,818	△4,442,269
株主資本合計	23,660,945	23,951,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△23,243	△30,359
為替換算調整勘定	92,394	77,995
退職給付に係る調整累計額	11,409	9,290
その他の包括利益累計額合計	80,559	56,926
新株予約権	－	1,673
非支配株主持分	1,740,128	1,890,533
純資産合計	25,481,633	25,900,409
負債純資産合計	36,067,392	37,598,349

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	12,406,169	13,891,836
売上原価	3,922,080	4,670,298
売上総利益	8,484,089	9,221,538
販売費及び一般管理費	6,920,886	7,270,750
営業利益	1,563,202	1,950,788
営業外収益		
受取利息及び配当金	51,770	69,917
持分法による投資利益	8,925	7,401
不動産賃貸料	42,008	42,008
保険解約返戻金	－	28,466
固定資産売却益	16,579	18,929
その他	12,647	23,385
営業外収益合計	131,930	190,108
営業外費用		
支払利息	2,660	3,983
貸与資産減価償却費	6,970	6,970
自己株式取得費用	5,660	－
その他	3,750	4,710
営業外費用合計	19,041	15,665
経常利益	1,676,091	2,125,231
特別利益		
固定資産売却益	487	－
特別利益合計	487	－
特別損失		
固定資産除却損	1,540	－
投資有価証券評価損	－	1,000
特別損失合計	1,540	1,000
税金等調整前中間純利益	1,675,039	2,124,231
法人税、住民税及び事業税	577,893	728,936
法人税等調整額	△65,181	△93,438
法人税等合計	512,712	635,498
中間純利益	1,162,327	1,488,733
非支配株主に帰属する中間純利益	55,346	197,130
親会社株主に帰属する中間純利益	1,106,981	1,291,603

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	1,162,327	1,488,733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,153	△9,988
為替換算調整勘定	△143,421	△45,459
退職給付に係る調整額	△7,164	△2,228
持分法適用会社に対する持分相当額	466	313
その他の包括利益合計	△145,966	△57,363
中間包括利益	1,016,361	1,431,370
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,022,223	1,267,970
非支配株主に係る中間包括利益	△5,861	163,399

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,675,039	2,124,231
減価償却費	231,190	270,243
のれん償却額	18,559	18,559
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△140	1,468
賞与引当金の増減額（△は減少）	△314	6,904
株式報酬引当金の増減額（△は減少）	46,690	48,985
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	11,451	15,054
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	19,714	17,979
受取利息及び受取配当金	△51,770	△69,917
支払利息	2,660	3,983
持分法による投資損益（△は益）	△8,925	△7,401
保険解約返戻金	－	△28,466
売上債権の増減額（△は増加）	△663,208	△712,000
棚卸資産の増減額（△は増加）	117,814	△63,071
仕入債務の増減額（△は減少）	69,912	256,215
前受金の増減額（△は減少）	221,046	156,093
未払消費税等の増減額（△は減少）	38,426	28,925
その他	125,746	167,002
小計	1,853,893	2,234,788
利息及び配当金の受取額	53,243	68,243
利息の支払額	△2,660	△3,983
保険解約返戻金の受取額	－	7,270
法人税等の支払額	△493,770	△489,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,410,706	1,816,389
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	500,000	－
有形固定資産の取得による支出	△298,458	△285,221
有形固定資産の売却による収入	21,347	23,295
無形固定資産の取得による支出	△79,167	△9,035
関係会社株式の取得による支出	△374,161	△188,253
投資有価証券の取得による支出	△700,000	△100,000
保険積立金の積立による支出	△105,061	△105,034
その他	37,585	16,434
投資活動によるキャッシュ・フロー	△997,915	△647,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	188,253
長期借入金の返済による支出	△62,264	△91,434
自己株式の取得による支出	△695,018	△115
自己株式の処分による収入	43,544	43,020
配当金の支払額	△1,072,892	△975,675
子会社の自己株式の取得による支出	△106,008	－
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	－	△12,453
その他	△10,659	△12,235
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,903,298	△860,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	△155,396	△63,493
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,645,904	244,442
現金及び現金同等物の期首残高	15,394,490	13,709,247
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,748,586	13,953,689

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

１　報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ウォーターヘルスケア事業」、「医療関連事業」の２つの事業セグメントを報告セグメントとしております。

「ウォーターヘルスケア事業」は、整水器販売事業及びそれに付随する業務やボトルドウォーターの販売を行っております。「医療関連事業」は、医療分野や再生医療分野における事業等を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,866,695	1,539,474	12,406,169	－	12,406,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,866,695	1,539,474	12,406,169	－	12,406,169
セグメント利益	1,455,573	107,629	1,563,202	－	1,563,202

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	中間連結損益計算書計上額(注)
	ウォーターヘルスケア事業	医療関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,432,874	1,458,962	13,891,836	－	13,891,836
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	12,432,874	1,458,962	13,891,836	－	13,891,836
セグメント利益	1,825,831	124,956	1,950,788	－	1,950,788

(注) セグメント利益の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。